

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 与野教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。人数によってはグループ分けをし、走るスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。法令にしたがって人数を配置で来ている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	トイレに入口に段差がある。カラーテープで視覚的に注意喚起をしているが、口頭での確認も続ける。必要に応じて個別に支援にあたっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	消毒作業と拭き上げ掃除をしているため、清潔な空間と道具の状態を維持している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行い、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	アンケート結果に応じて改善点を話し合っている。今後計画的に改善を図っていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	HPに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	定期的に研修に参加し、知識の共有と療育手段の統一を図っている。他教室と合同で研修を行い、職員のスキルアップを図っている。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 与野教室

	チェック項目	改善目標や工夫している点
適切な支援の提供	10	<p>アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している</p> <p>児発管が中心となり指導員に聞き取りをし、子どもの様子と保護者の要望を確認するし個別支援計画を作成している。</p>
	11	<p>子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している</p> <p>標準化されたアセスメントツールをもとに、適応行動の状況把握につなげている。</p>
	12	<p>児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている</p> <p>児発管と保護者の話し合いを行い、適切に選択し具体的な支援内容を設定している。</p>
	13	<p>児童発達支援計画に沿った支援が行われている</p> <p>毎日支援にあたる前後で確認し、支援を行っている。</p>
	14	<p>活動プログラムの立案をチームで行っている</p> <p>子どもの課題や成長の様子なども考慮し、ミーティング時に話し合い決定している。</p>
	15	<p>活動プログラムが固定化しないよう工夫している</p> <p>基本的な流れは一緒であるが、子供も調子や成長に合わせて提案内容を変えている。また、本人や保護者に要望に合わせて変更するなどしている。</p>
	16	<p>子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している</p> <p>子どもの適性を見極め各々のクラス人数設定を行っている。子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を行っている。</p>
	17	<p>支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している</p> <p>支援開始前後に必ずミーティングを行い、支援方法や役割分担を行っている。</p>
	18	<p>支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している</p> <p>支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出し、次の支援につなげている。</p>

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 与野教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	指導員がそれぞれファイルを作り、日々の記録を取り全体に共有している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	児発管とマネージャーがモニタリングに参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	学校との情報共有は行っていないが、保護者から間接的に学校情報をもらうことある。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様を通所していない。今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様を通所していない。今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課後等デイサービスや保険対象外の療育施設との情報共有や相互理解は、要望があれば対応している。今後、必要に応じ検討していきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者の申し出があれば、学校等に資料を送る体制ができています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	近隣で公開しているセミナーなどに参加し、情報収集を行っている。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	現在検討していないが、今後必要に応じて検討していきたい。	

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 与野教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	今まで参加したことはないが、協議会の内容や職員の勤務体制などにより、参加を検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて状況や課題を共通認識している。また、随時保護者からのご意見ご要望に対応できる体制を保護者へ周知している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	保護者に対しての接し方や作法を職員同士で話し合い研修している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明し、支援の内容は様々な状況で説明している。また常に質問に答えられるように体制を整えている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	支援計画を作成・説明を行い同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できなときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	現在検討していないが、今後必要に応じて検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その場でお答えできる範囲はお伝えし、それ以外は1回持ち帰りスタッフ間で話し合い、その後対応している。</li> <li>・今後、専用お問い合わせ窓口や意見箱の設置を検討していく予定。</li> </ul>
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報等は発行しておらず、直接のやり取りもしくは電話やLINEを利用し連絡をとりあっている。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 与野教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報が載っている場合はシュレッダー処理、カギ付き書庫の中に保管している。データ管理はキー設定を設けている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	ハンドサインや書字を用いるなど配慮している。必要に応じ検討し、増やしていく予定。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	左記マニュアル類はできており、施設内に掲示し周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年2回、地震と火事を想定して実施。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約面談時のフェイスシートと面談により確認している。変更があった場合は 随時情報提供していただいている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約面談時のフェースシートと面談により、食物アレルギーについては詳しく聴取し、一覧表を鍵のかかるロッカーの中に張り出し、イベント時に提供するお菓子にはアレルギー源を含むものは提供していない。今後必要に応じ医師の指示書の必要性を検討していく予定。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度映像で状況確認し記録している。ミーティングで共有し、対策を打っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的に教室内で研修を行っている。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 与野教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。今現在、当事業所において拘束等は行われていない。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 与野教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が4人以上になると狭く感じるため、もう少し広いと尚いいと思います。</li> <li>・広いスペースで運動するのに十分である。</li> </ul>	運動の際、グループ分け・順番を明確にする・コーンやテープの線で区切る等の環境設定に取り組み、スペースの確保や接触・怪我の防止に努めていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16				<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が沢山いて、細やかに子供のフォローをして頂いている。</li> <li>・マンツーマン以上の職員の方がいらっしゃるので十分すぎる。</li> </ul>	法令通りの人員を配置しております。専門性については契約書類の重説に経歴・資格が記載してありますが、より伝わりやすいように努めていきます。質問・わからない事がありましたらスタッフにお尋ねください。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	1			トイレや洗面所、活動する場所、すべてわかりやすく配置していて、とても良いです。	カラーテープで視覚的な支援をしています。口頭での注意喚起も行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16					毎日フロアと器具の清掃・消毒を徹底しています。
適切な支援の	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16				半年に一回の面談、また気になったことを随時相談して支援計画を作成している。	事業所内でのミーティング・モニタリングと保護者様との面談を踏まえて計画を作成していますが、ズレを感じた際は遠慮なくおっしゃってください。計画変更の面談を設けます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14			2		契約時や面談時のご意見・ご要望をふまえてスタッフ一同ミーティングを行い支援内容を設定しています。支援内容にズレを感じた場合は、遠慮なくご相談ください。

## 保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 与野教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
提供	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	1		1	子どもが飽きないように、いろいろな活動が行われている	引き続き児童様が楽しみながら成長できるプログラムを考えていきます。ご要望・ご意見も遠慮なくおっしゃってください。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では同じクラスのお友達と交流するだけでも満足しています。</li> <li>・集団療育なので色々なお友達の交流があるので、それで十分かと思う。</li> <li>・保育園での様子を聞かれたり、情報共有ができています。</li> </ul>	運動療育という特性上現状では難しいですが、必要に応じて検討して参ります。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16					引き続き丁寧な説明を心がけていきます。疑問・質問等遠慮なくおっしゃってください。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	15			1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6	2	2	6	次回の面談時に細かいアドバイスをいただきたいと思います。	ペア・トレーニングの本格的な実施は現在は体制が整っていませんが今後検討していきます。子育ての相談・助言等については引き続きスタッフにご相談ください。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16				<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日丁寧なフィードバックをして頂き、子供の成長を感じる。</li> <li>・毎回活動の後に、丁寧に行った内容を説明してくれています。</li> </ul>	送り迎えの混雑時はどうしてもフィードバックが短くなる場合があります。詳しく聞きたい場合は別時に機会を設けますのでご相談ください。引き続き丁寧な対応を心がけてまいります。

## 保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 与野教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14			2		面談は個別支援計画変更以外でもご要望に応じて行わせていただきます。子育てに関する相談も、面談やフィードバックの際に、遠慮なくおっしゃってください。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4		3	9	保護者同士の交流の場があると悩み等を共有できてありがたいです。	保護者会は現在実施予定はありませんが、同クールの保護者様、同じ学年の保護者様など少人数での情報共有・話し合いをご希望の際は児童発達支援管理責任者にお申し付けください。療育の時間外で行えるように検討していきます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13			3	保育園で準備体操や動物のまねっこに対して参加意欲が低いと伝えたら、すぐにプログラムに取り入れてくれました。	ご意見・申し入れがあった場合は即日スタッフ全員でミーティングを行い、改善策を協議してその結果をお伝えします。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16					現状では半年以内の個別支援計画変更の際の面談や、療育後のフィードバックが意思疎通と情報伝達の機会となっています。それ以外でも何かあれば、話し合いの時間を設けさせていただきます。また療育に関しての疑問や方針のズレを感じた場合も、遠慮なくお伝えください。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7			9	・今後ホームページ等で発信する予定があれば尚いいと思います。 ・ホームページをあまり見ていないので、わかりません。	ホームページの下部に自己評価の結果を記載します。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14			2		個人情報が記載されている書面は施錠できる棚に必ず保管しております。	
非常時	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15	1			・年数回、緊急時の訓練ができています。 ・契約時にマニュアルを丁寧に説明してくれました。	マニュアルは作成し起こった時の対応をスタッフ全員で周知しています。

## 保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 与野教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
等 の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16				定期的に避難訓練が行われています。	マニュアルは作成し起こった時の対応をスタッフ全員で周知しています。緊急時と防犯のマニュアルは危機管理・不審者対応マニュアルで一括して靴箱上のファイルにありますので、ご自由に閲覧ください。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	16				<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しく取り組んでいる。</li> <li>・先生方がとても元気に挨拶してくれて、子供がいつもにこにこ通っています。</li> </ul>	今後も児童様が楽しく通所しながら成長できるよう、日々ミーティングで療育内容を熟考していきます。
満 足 度	23	事業所の支援に満足しているか	16				<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の上手な接し方により、子供の成長を感じている。</li> <li>・苦手な運動に対して、少しずつ自信が持てるようになり、感謝しています。</li> </ul>	スタッフ一同最善の療育内容を提供できるように日々取り組んでいますが、過信する事なく常にもっとできる事はないか考えていきたいと思っています。保護者様・利用児童様からのご意見・ご要望が質の向上の何よりの糧となりますので、今後ともよろしく願いいたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名： TAKUMI 与野教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。集団クラスで子どもが多い時は、グループ分けをし、運動量が確保できるように工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。当事業所は指導員4名がすべて常勤のため、体制は整っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	入口から来所した際は段差があり、建築の設計上なくすことは不可であるが、玄関先に張り紙を貼るなどで注意喚起している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行い、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向けアンケートを12月に実施し、評価の悪い項目については、ミーティングを重ね、今後計画的に改善を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	HPで公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修に参加し、社内研修は研修担当が各教室を巡回し研修を行っている。他教室と合同で研修を行うこともあり、そこで知識を共有し職員のスキルアップを図っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。また、個別支援計画作成する際、話し合う時間を設けている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児発管と指導員が話し合い、プログラムの立案を行っている。また、子どもの直近の様子なども考慮し立案している。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名： TAKUMI 与野教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	基本的なプログラムの内容、流れは一緒であるが、同じ内容でもルールを変更したり、アレンジしたりしている。また、定期的に職員で話し合い、子どもの様子や状況により内容を変更するなどしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	当事業所は、長期休暇時もサービス提供は平日と特段変わりがないため、基本同じ内容で実施している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	子どもの適性を見極め各々のクラス人数設定を行っている。子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前後に必ずミーティングを行い、支援方法や役割分担を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出し、次の支援につなげている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	個別に記録を残し、日々の変化や取り組みに対する対応を共有している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	契約後、6か月以内に定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	総則通り行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児発管とマネージャーで参画している。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	当事業所は送迎がないこともあり、学校との情報共有は行っていない。その代わりに、保護者から間接的に学校情報をもらうことがある。最近では施設見学や面談を行い、その結果を鑑み、今後の必要性を検討していきたい。	
㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様が通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。	

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名： TAKUMI 与野教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課後等デイサービスや保険対象外の療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば対応している。今後、必要に応じ検討していきたい。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在事例はないが、提供することは可能。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	近隣で公開しているセミナーなどに参加しており、情報収集を行っている。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要に応じて検討していく。
	㉔	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	近隣で公開している協議会などに参加しており情報収集を行っている。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。また、随時保護者からのご意見ご要望に対応できる体制を保護者へ周知している。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者に対しての接し方や作法を職員同士で話し合い研修している。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しているが、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。また、常に質問に答えられるように体制を整えている。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できなときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在検討していないが、今後必要に応じて検討していきたい。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	専用お問い合わせ窓口や意見箱の設置を検討する予定。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度期

事業所名： TAKUMI 与野教室

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報等は発行しておらず、直接のやり取りもしくは電話やLINEを利用し連絡をとりあっている。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	個人情報載っている場合はシュレッダー処理、カギ付き書庫の中に保管している。データ管理はキー設定を設けている。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	ハンドサインや書字を用いるなど配慮している。必要に応じ検討し増やしていく予定。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	左記マニュアル類はできており、靴箱の上に置いて周知している。しかし保護者への周知が充分ではないため、周知徹底していく予定。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回、地震や火事を想定して実施。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年2回、虐待防止の研修をし、実施している。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	マニュアルも作成し、方法も組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、同意書のもと了承を得ている。現在、当事業所において拘束等は行われていない。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約面談時のフェースシートと面談により、食物アレルギーについては詳しく聴取し、一覧表を鍵のかかるロッカーの中に張り出し、イベント時に提供するお菓子にはアレルギー源を含むものは提供していない。今後必要に応じ医師の指示書の必要性を検討していく予定。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。スタッフがいつも見れる場所にヒヤリハットファイルを置いている。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 与野教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	4	0	素晴らしい先生方で、こちらが毎回沢山学ばせて頂いております。	法令通りの人員を配置しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	6	0	トイレに入る際、段差あり	カラーテープで視覚的な支援をしているが、口頭での注意喚起を行っています。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	18	1	0		事業所内でのミーティング・モニタリングと、保護者様との面談を踏まえて計画を作成しています。計画変更の面談を受け付けることもできます。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	16	3	0		引き続き児童様が楽しみながら成長できるプログラムを考えていきます。ご要望・ご意見も遠慮なくおっしゃってください。本人の気持ちを何より尊重しますが、学校体育に繋がる運動の比重を多くしていきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと動する機会があるか	2	7	10	少人数、短時間なので機会が少ないことは承知しております。	運動療育という特性上とコロナ化の現状では難しいですが、必要に応じて検討して参ります。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	2	0		引き続き丁寧な説明を心がけていきます。疑問・質問等遠慮なくおっしゃってください。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 与野教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	3	0	日頃ではないが毎回の通所時にはできている。	フィードバックでの質問・要望はより良い療育の向上・意思疎通に繋がりますので、どんな事でもお尋ねください。入れ替えが多い時等、なかなか時間をとることができない場合がありますので、その際にご相談のうえ面談・電話対応等の時間を設けさせていただきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	4	0	自分では気づけなかった貴重なアドバイスを頂けて、とてもありがたいです。	育児に関する相談も面談やフィードバック時や面談の際に遠慮なくおっしゃってください。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	10		保護者会は現在実施予定はありませんが、同クールの保護者様、同じ学年の保護者様など、少人数での情報共有・話し合いをご希望の際は、児童発達支援管理責任者にお申し付けください。療育の時間外で行えるように検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	5	0	苦情対応を依頼したことはありません。	ご意見・苦情があった場合は即日スタッフ全員でミーティングを行い、改善策を協議してその結果をお伝えします。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0		現状では半年以内の個別支援計画変更の際の面談や、療育後のフィードバックが意思疎通と情報伝達の機会となっています。それ以外でも何かあれば話し合いの時間を設けさせていただきます。また、療育に関する疑問や方針のズレを感じた場合も遠慮なくお伝えください。
	13	定期的にホームページや会報等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	8	0	・会報はない。 ・ホームページは見えていないため更新状況は不明。	口頭やお電話、LINEにて連絡を取っております。アンケート結果についてはホームページ下部に自己評価の結果を記載します。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 与野教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

	チェック項目	A	B	C	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	14 個人情報に十分意しているか	18	1	0		個人情報に記載されている書面は施錠できる棚に必ず保管しております。写真や作品は契約の際の同意書で許可をいただいた利用者様のみ、店舗内に掲示し、HPや外部に掲載する事は決してありません。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	1	1		マニュアルは作成し、起こった時の対応をスタッフ全員で周知しています。緊急時と防犯のマニュアルは危機管理・不審者対応マニュアルで一括して靴箱上のファイルにありますのでご自由に閲覧ください。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	0	0	実際の訓練は見たことがない。	毎年2回の防災訓練と年1回の不審者対応訓練を行っています。教室には緊急時に備えて防災ヘルメット、防災バックを用意しています。避難経路となる階段の使用も訓練時にお願い致しております。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	0	0	・TAKUMI行くと張り切っています。 ・嫌がってはいないという感じ。 ・毎回たくさん笑ってとても楽しんでます。	今後も児童様が楽しく通所しながら成長できるように、日々ミーティングで療育内容を熟考していきます。児童様に行き渋りがみられる場合は真摯に受け止め、療育内容を改善させていただきますので遠慮なくご相談ください。
	18 事業所の支援に満足しているか	17	1	0	・色々な事を経験させて頂きありがとうございます。 ・先生方も皆様素晴らしく、本当にTAKUMI与野さんに通うことが出来て親子共々大変感謝しております。	スタッフ一同最善の療育内容を提供できるように日々取り組んでいますが、過信する事なく常にもっとできる事はないか考えていきたいと思っています。保護者様・利用児童様からのご意見・ご要望が質の向上の何よりの糧となりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。